

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

1. 研究課題名	青森県津軽地域における妊娠糖尿病妊婦の長期予後調査		
2. 対象患者	つがる総合病院、黒石病院、国立病院機構弘前病院、健生病院の4つの病院で、2006年から2015年の過去10年間に分娩となり、妊娠糖尿病と診断された方。並びに2010年に変更となった妊娠糖尿病新診断基準に当てはまる方。		
3. 対象となる期間	2016年11月 ～ 2018年3月		
4. 実施診療科等	産科婦人科		
5. 研究責任者	氏名	石原佳奈	所属 産科婦人科学講座
6. 研究の意義	<p>妊娠中に妊娠糖尿病と診断された女性は将来的に糖尿病や高血圧、脂質異常症といった生活習慣病となる可能性が高いと言われております。また青森県は全国一の短命県ですが、糖尿病患者が全国的にみても非常に多い（しかも糖尿病になってから病院へ行くまでがきわめて遅い）ことがその一因になっていると言われております。そこで、今回の研究では妊娠中に妊娠糖尿病と診断された方を対象に、その後糖尿病を含めた生活習慣病になっていないかなどを調べることによって、こうした方が今後も長く健康ですごせるよう我々医師がどのように患者さんに関わっていくのがよいのかを考えることを目的とします。</p> <p>また、妊娠糖尿病の方から生まれたお子さんも肥満や生活習慣病になる可能性が高いということも言われております。お子さんの健康状態も同時に調査させていただくことで、ご家族皆が健康でいられる方法を考えることも大切な目的のひとつです。</p>		
7. 研究の目的	<p>全国最下位の青森県の健康寿命を延ばすためには20～40代からの健康管理が重要です。また私たちは、お母様の健康問題はそのままお子さんやご家族の健康に直結する問題であると考えております。今回青森県津軽地域において、過去に妊娠糖尿病にかかった方の現在の健康状態を調査、把握し、その実態を検証することにより本県の短命県克服への糸口を見つけることを目的としています。</p>		
8. 研究の方法 (使用する資料等)	<p>上記病院で2006年から2015年の過去10年間に分娩され妊娠中に妊娠糖尿病と診断された方が対象です。ただし、妊娠糖尿病の診断基準は2010年に新たに採択されたものを採用し、2006年～2010年に分娩となった方でもこの診断基準を満たす方は対象者とさせていただきます。</p> <p>研究の対象者となった方にはアンケートを送付させていただきます。研究に協力してくださる方は、大変お手数を御掛けしますがアンケート用紙の返信をお願い致します。</p> <p>また、診療録からは臨床情報の収集を行います。</p> <p>アンケート結果を元に、糖尿病や高血圧といった生活習慣病になった方がいるかどうか、それを予測する因子があるかどうかについても調べます。</p>		
9. 個人情報の保護	<p>研究結果は論文報告等に用いますが、患者さん自身の個人情報は全て匿名化して管理し、個人情報が漏れることは決してないように致します。そのデータはインターネットに繋がれていないパソコンに保存し、鍵のかかる部屋で管理します。また、報告にあたっては名前や個人を識別する情報は一切使用致しません。</p>		
10. 利益相反に関する状況	特にありません。		
11. 問い合わせ先	弘前大学医学部附属病院 産科婦人科 助手 石原佳奈		
	電話	0172-39-5107	FAX 0172-37-6842